

第三回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

<議事要旨>

■日 時：令和 2 年 11 月 18 日（水）15：00～17：00

■場 所：国営海の中道海浜公園事務所

■主な意見等

1) うみなかビジョン2030（案）について

①海の中道遺跡など海の中道の歴史を紹介する場が公園に必要なではないか。米軍基地時代の遺構も、まだ残されているものがあるのではないか。そうした海の中道ならではの歴史遺産を紹介するとともに、歴史教育も展開してほしい。[有識者]

→現在も管理センターが歴史を探訪するツアーを実施している。今後も引き続き展開していきたい。
[公園管理者]

②三保の松原を描いたことで有名な歌川広重が海の中道の松原も描いていたというのは良いアピール材料になる。「広重が描いていた名所」をキャッチフレーズにするなど、誰もが知っているワードを使うことで、公園を知ってもらえる機会を増やしてはどうか。[有識者]

→今後の広報の参考にする。[公園管理者]

③将来像 1 において西戸崎、雁の巣地区、アイランドシティ等の周辺地域との連携について書かれているが、馴染みのない人にとってはどこを指しているか分からない。広く一般の人が見る資料として、周辺を含めた全体の位置関係が把握できる関係図等を入れるべきではないか。[有識者]

→資料中に情報を追加する。[公園管理者]

④広い公園なので、スケールメリットを活かしながら全体をつなぐ動線の考え方などがあると良い。今の海の中道には、人が滞留するような居心地のよい快適な場が足りていないと考える。面的には多くの改修の提案ができているので、それらを快適な移動で繋ぐことが重要である。新しい交通システムの提案も大切だが、まずは歩きやすい、走りやすいといった基本的な動線の整備に言及することも必要である。[有識者]

→来年度、公園全体の交通の考え方、各エリアの状況等に即した動線やゾーニング等を、協議会に提示しながら検討する予定であり、今年度の本協議会の中では将来像や方向性を示す程度に留めておきたい。[公園管理者]

⑤バスや自転車のルート of 再編、新たなモビリティの導入が挙げられているが、ランニングコースの設定等は予定されていないのか。[有識者]

→B 地区の海沿いのランニングコースの整備を予定しているが、既存のエリアでも場所によってはコースに活用できると考えている。全体の交通体系を整理する中で再度検討したい。[公園管理者]

⑥園内の回遊性を向上させるとの記載があるが、回遊性だけではなく、歩行者の安全性の向上についても加えるべきではないか。[有識者]

→歩行者の安全性についても資料に追記する。また、公園全体の交通体系を整理する中でも安全性に留意しながら検討する。[公園管理者]

⑦将来像の「概ね 10 年後の公園の主なイメージ」では、エリア毎のイラストを引出して示しているが、できれば同じような表現で全体像を一枚で表現すると分かりやすいのではないか。[有識者]

→イラストはエリア毎に作成しているため、一枚絵で表現するのは難しい。[公園管理者]

⑧D 地区の「白砂青松の自然・景観を継承する場」を表すイラストだけタッチが異なっている。また、人の活動の様子が描かれていない。人々が自然を活かしたレクリエーション活動をしているイメージも入れるべきではないか。[有識者]

→D 地区のイラストは既存のものを活用したため、トーンが異なっている。人の活動の様子は、他エリアのイラストで表現しているため、ここでは表現していない。[公園管理者]

⑨雁の巣レクリエーションセンターと B 地区、D 地区との接続はどのように考えているか。[有識者]

→B 地区側は、博多湾の海岸沿いで接続を予定している。D 地区側は検討中だが、県道、鉄道を横断するため、直接接続することは難しいと考えている。[公園管理者]

→雁の巣レクリエーションセンターから D 地区側へ陸橋を設けてはどうか。または、現在の雁ノ巣駅を公園内に移設し、駅から陸橋で雁の巣レクリエーションセンターに繋げるということはないか。10 年で難しければ 20 年後でもよいので、雁の巣レクリエーションセンターと公園との相互のアクセスについて、大胆な発想で提案を行っていただきたい。[有識者]

→すぐには難しいと思われるが、JR 九州との利害が一致すればありえない話ではないと考えるので、まずはこのような意見があるという話をしていきたい。[公園管理者]

→20 年後、30 年後の展望や方向性等も、工夫して資料に盛り込んで欲しい。[有識者]

→承知した。[公園管理者]

⑩将来像の実現を支える手段として、「園内関係主体の連携強化、継続的なフォローアップ」とあるが、今後は公園内部にとどまらず、公園外部の企業等からの柔軟なアイデアを取り入れる仕組みづくりも検討してはどうか。たとえば公園の一部のエリアを、スモールスタートアップの実験的な取組みの受け入れ先として活用する等が考えられる。[有識者]

→実験的な取組みを行うこととするなど、加筆を検討する。[公園管理者]

⑪参考資料 2 の B・D 地区のイラストの中の「立体アスレチックの設置・運営」に書かれている「企業の研修の場等学びの充実」とは、例えばコロナ禍の新しいライフスタイルとして、外で会議をする・働く等を見込んでのものと考えるが、その認識でよいのか。その場合、立体アスレチックと企業の研修の関係性が分かりづらいように思えるがいかがか。[有識者]

→自然の中にあるアスレチックを活用して、チームワークを高める研修ができるということを示すために記載した。ただ、このような公園資源を活用した研修は、ルイガンズやマリーナといった施設とも連携しながら公園全体で展開するイメージで考えている。[公園管理者]

⑫各エリアの将来像はよくわかったが、D 地区で終わるのではなく、最後にそれらのイメージを統合した全体像について記載した方が、国営公園のビジョンとしてふさわしいのではないかと。前向きに検討いただきたい。[有識者]

→長期展望の中で、この 10 年をどう位置付けるのかといったことが最後に書けるとよいのではないかと。[有識者]

→承知した。[公園管理者]

2) 将来像実現に向けた各主体の取組み、フォローアップについて

①うみなかたびポータルサイトの設置は、目的別・世代別のモデルコースや、一日の過ごし方をセットで示すと、幅広い世代の利用が広がるのではないかと。[有識者]

→関係機関と検討中の内容ではあるが、今後公園ホームページにおいて、多様な客層に向けたモデルコース等を発信していきたい。[園内関係機関]

- ②「多様な主体との連携」とあるが、どこまでの相手を想定しているか、何を持って連携を達成したことになるのかが分かりづらい。また、新たな連携先をどのように広げていくかという点も示していただきたい。[有識者]

→園内の管理に関わる主体、志賀島など周辺地域、福岡市内から福岡県内など、連携先のスケール別に分かりやすく表現できると良いのではないか。[有識者]

→幅広い主体との連携を想定しており、推進していきたいので、「多様」という表現で括るのではなく、どういった主体と連携をしていくのか、追記を検討する。[公園管理者]

→各エリア・レベルでどのような主体と連携をしていくのか具体的に示すことで、公園をより良くするために必要な連携が分かりやすくなるので、検討いただきたい。[有識者]

→承知した。[公園管理者]

- ③D 地区の青少年海の家周辺の海岸部では、清掃活動で対応しきれない量のゴミの発生と、砂浜地形の変化が問題と考えている。管理主体の違いで、公園外の砂浜は市によって掃除されているが公園内の砂浜にはゴミが残っているという状況も発生している。安全・安心と美しい自然環境が公園の魅力の基本であると考えてるので、まずはこうした状況があることも課題として認識していただきたい。[園内関係機関]

→公園内外の清掃状況の違いなどは、行政間の連携の課題でもある。連携のあり方なども盛り込んでもらえると良い。[有識者]

→承知した。[公園管理者]

3) 国営海の中道海浜公園 整備・管理運営プログラム(案)について

- ①今後5年10年で達成できなくてもその次の10年に繋がるような、一貫通貫した骨太な思想を書いてもらえると良い。[有識者]

→承知した。[公園管理者]

以上